

ブックトーク実演台本

ね この本読もうⅡ



第二期ブックトークゼミナール

もくじ

- 一 実演台本 テーマ 『新しい自分へ』 Aグループ
- 二 実演台本 テーマ 『食べる』 Bグループ

資料



編集

稲垣勇一

白井真希

西入幸代

宮川やよい

山本美都子



ブックトーク実演台本

テーマ 『新しい自分へ』



田中 一枝
嶋崎 恒行
塩田 陽子
花岡 恵美子
茂木 規子

使用ブックリスト

5	4	3	2	1	No
りんごのおじさん	イルドパルフィアツテナ	のはらうた	星にむすばれて	トラのじゅうたんになりたかったトラ	書名
竹下 文子	齊藤 洋	くどうなおこと のはらみんな	谷川俊太郎	ジュエラルド・ローズ	文
鈴木 まもる	杉浦 範茂	くどうなおこと のはらみんな	えびな みつる	ジュエラルド・ローズ	絵
ハッピー オウル社	講談社	童話屋	文研出版	岩波書店	出版社
2008年7月	1987年5月	1984年5月	2009年4月	2011年10月	初版年月

前読み

第一声が大事。みんなに
会えることを楽しみに
していたことを伝える。

クラスの雰囲気を感じ
取る。

『トラのじゅうたんに
なりたかったトラ』

白井学級のみなさん、こんにちは！

今日は私達ブックトークのメンバー五人が、「新しい自分
へ」というテーマをもとにそれぞれ本を紹介します。

このうち三人は先月みんなに会っていますね、帰って来た
メンバーに聞いたところ、みんなが素直に集中して聞いて
くれたことを本当に感激していました。ですから、みんな
に会うことを全員がわくわくして楽しみにしていまし
た。

「新しい自分へ」というテーマですが、「今こんなことをし
たいけど勇気がなくて」とか「いつも途中で投げ出してし
まう自分を変えたい」とかみんな、ないですか？そういう
こともテーマに入っています。

ではまず、ジェラルド・ローズ咲く「トラのじゅうたんにな
りたかったトラ」という本です。

「こんにちは」と元
気よくあいさつがか
えってきた。

「ある」「ある」とあ
ちこちから返事

本の表と裏を大きく見開いて見せる。

少し間をおく

期待を持たせる。

1頁を開く

2ページ

3ページ

ねえみんなこの表紙のトラをみて、どんなトラだと思う？
(ひっくり反す)ひっくり返すとこんな感じですよ。

では、この表紙のトラはみんなが感じたトラと同じなのか、それとも違うかいつしよに見ながら考えましょう。

実はこのトラはね、ジャングルにすーっと住んでいたんだけど、年をとってええものを捉えることもできなくなつて、だんだんやせてきちゃったんだって。そんなトラをバカにしてサル達がしょっちゅう木の上から木の実を投げつけていたんだって。

トラはいつも淋しくて夜になると近くにある王様の宮殿に行きました。なぜ宮殿に行くのかというとね、王様家族が楽しそうに夕ご飯を食べているのを見て、自分も仲間に入れたらいいなあと思っていたからでした。

王様達、楽しそうだね。窓からトラが覗いているね。

そんなある日、王様がいつもご飯を食べている時に敷いているじゅうたんを、召使いが干しているのを見て、トラはひらめきました。そうだあそこに干してあるトラのじゅ

ぼけてるーとか、ねてるーとかの意見が出る。



うたんと自分をとりかえよう。

召使いは、急に重くなつたのは本当に生きているトラとは知らずに宮殿に運んで元の場所に敷いたのでした。

やがて王様たちは夕ご飯を食べにやってきてトラの上に座りました。トラは王様家族と一緒にいられるのがうれしくてたまりませんでした。(トラはうれしそうな顔をしているね)

でも、その後のトラの態度つたらありません。残つたごちそうを食べ、誰もいなくなった広間でゆつくり眠りました。

ある夜のこと、なんと三人のどろぼうが入ってきたんです。次々と宝石を袋に詰めているどろぼう達を見て、トラはどうしようと思っていました。

ところがそこへ王様が来たものですから、どろぼう達は王様を刀で殺そうとしました。

5ページ

6ページ

7、8ページとばす

9ページ

10、11ページ

ゆとりが少し出たので、子ども達の表情を見ると、みんなキラキラした目で真剣に本を見ている。感動。

絵を見て少しニコリと前の子が笑った。



『星にむすばれて』
ミニイーゼルに写真を
セット。紹介する本は

トラは自分が生きているトラだとわかってしまうことも忘れ、とろぼう達におどりがかりました。

どろぼうはトラのおかげで捕まり、王様は無事でした。

「このトラが私を助けてくれたんじゃあ、ずっと宮殿において大切にしよう」と家族や召使いの前で言ってくれました。

という訳で、とらはすっかり王様家族の一員になりました。一人ぼっちで淋しかったことも、えものがとれなくて困っていたことももうありません。

それどころか、トラは王様家族に必要とされるトラになっんです。

そうトラは「必要とされる新しい自分」になったんです。そして家族も手に入れました。おしまい。

次は星のお話です。

とんでもないことを思いつくトラがいたモノですね。願いがかなえられて、本当によかったです。とびきり愉快的な絵本を紹介してもらいました。



直前まで袋に。

イーゼル、本は体の左に。

リングの写真を見せる。語りはゆつくり、子ども達を見まわし、明瞭な発音で。

ゆつくり内容の説明をする。

夕焼けの写真を見せる。
詩の朗読の時、本を写真の前に。
ゆつくりと、心をこめて詩を朗読する。

この写真、見覚えがありますか？ 今年の金冠日蝕です。すごいことが起きましたね。不思議なリングが映っています。半年前のことだったんです。

みなさんに紹介する本はこれです。『ほしにむすばれて』谷川俊太郎さんが文を、えびなみつるさんが絵をかいています。

おじいちゃんとおかあさんとぼくのお話です。望遠鏡がぼくたちをつなぎます。

夕焼けのそらから始まります。詩を読みます。

ゆうやけは

よるの はじまり

ゆうやけを ぬぐと

そらは はだか

うちへ かえることもたちに

あおぞらが かくしていた

ほしぼしを みせる

にぎやかなひるまから



2 ページから3 ページ、ゆっくりページをめくり、8、9、10、11、13 ページまで進む。ゆつくりを意識する。
31 ページまでとんで。
ペルセウス流星群の写真を見せる。
写真を見せながら、ゆつくりと語りかける。

しずかなよるへと
こどもたちを さそって
ゆうやは
うちゅうの ドラマの
まくをあける

おじいちゃんはいちばん星を見ました。初めての望遠鏡で月を見ました。自分で作った望遠鏡で火星や土星や地球の光で月が照らされているのを見ました。

おじいちゃんと星空と望遠鏡、きつてもきれいなものでした。

そして、ぼくは望遠鏡でいったい何をみるのでしょうか？

星を見ることがありますか？

流れ星を探しませんか？

流れ星……。

消えてしまうまでに、3 回願いごとを唱えられたら願いが叶うって知っていますか？

流れ星、すぐに消えてしまつてうまくいきません。

それでも、星空はきれいでとても感動します。



『ほしにむすばれて』の本をイーゼルに置き、星の使者図鑑を両手に持つて紹介する。

『のはらうた』

子ども達に詩の楽しさが伝わるようにしたい。詩を読ませてもらった時の感動が伝わるように話す。

「のはらうた」の本(表紙)を見せる。
「版画板のはらうた」コピーを本立てに立てる。
「のはらうた」より詩を読む。

『ほしにむすばれて』、この本おすすすめです。宇宙のことをもっと知りたくなる新しい自分へ導いてくれるかもしれません。星の本は他にもあります。手にとって読んでみてください。これでおしまいです。

星の本、ステキでした。私も読んでみたくなりました。

さて私たちは、白井先生から、金環日蝕についてみなさんが書いた詩を見せてもらいました。

みなさんの感じる力、表現する力が素晴らしくとても驚いたんですよ。

今日は、工藤直子さんがまとめた「のはらうた」という詩の本を紹介します。

なんと、のはらに住んでいる仲間が書いた詩なんですよ。これから私がその詩の作者になったつもりで読みますので、想像しながら聞いてくださいね。

・「さかさま」こぎる いさむ



とてもよく聞いてくれた。オチで笑ってく

「作者になったつもりで
ゆつくりと。」

子ども達の反応を見な
から。

クイズにすることによ
り、より一層想像力を
めぐらせて聞いてもら
えるようにしたい。

ヒントを感じてもらえ
るように（作者が誰か
わかるように）強調し
て読む。

ひとりに当てる。

同じ作者でも、タイプ
の違う詩を書くことを
知ってもらう。

・「くちばし」あひる ひよこ

どうでしたか。のはらのみんなも、なかなかステキな詩を
書きますね。

それではこれから「のはらうた」よりクイズを出します。

のはらに住む誰が書いた詩か当ててください。「でたり
ひつこんだり」「かたつむり でんきち

そうです、この詩の作者はかたつむりのかたつむりでんき
ちさんでした。

かたつむりでんきちさんは、他にもこんな詩を書いてい
ます。

「かたつむりのゆめ」
でんきちさんの夢、いつか叶うといいですね。

「のはらうた」には、他にもたくさん種類があります。

れた。

予想通りでホッと
した。

クイズにとっても反応
していた。

こたえようとしてほ
とんど全員が手を挙
げてくれた。

「のはらうた」シリーズの本の紹介。オリジナル「のはらうた」

子ども達が作る「のはらうた」を見せる。

まとめ

おじぎをする。

『ルドルフと イップハイアッテナ』

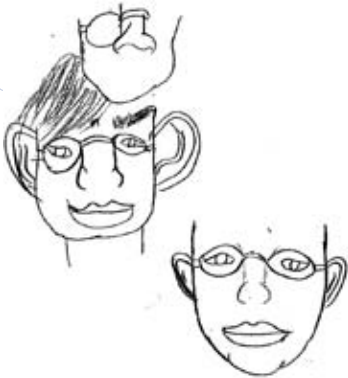
ゆっくりと子どもの表情を見て、落ち着いて第

詩の本をもとにした版画のものもあるし、みんなと同じ小学生が作った「のはらうた」もあるんですよ。

みなさんも、詩を読むときは、ぜひ声に出して読んでみてください。

「のはらうた」はその詩の作者になったつもりで読むとても楽しく読めますよ。

たくさん読んで、詩を大好きになってほしいなと思います。
これで終わりです。



一声を出す。
題名、作者をしつかりと読む。

本の表紙を良く見せ、前の本の紹介からのつながりを持たせた言葉かけをする。

雰囲気を変えるような話し方をする。

表紙のルドルフを指さして。

長野、岐阜の地図をボードに貼りながら長野県を指さして。
黒板の端に長野県、岐阜県のカードを貼る。
黒板の右端に東京の絵と江戸川区のカードを

虫も人間と同じように感じるかな？私も食事の前に「いったら〜きま〜す。」とあいさつを試みようかな？

次に紹介するお話の主人公は ねこです。

ルドルフは子どもの黒ねこです。

さあ、問題です。ここは何県でしょう。

そう、ここは長野県。

そして長野県のおとなりの岐阜県にルドルフはリエちゃんという女の子に飼われて、幸せに暮らしていました。ここは山や田んぼ、畑がたくさんある町だったの。

じゃあね、ここはどこかわかるかな？ ピンポーン正解！

「ながのけん」「わからない」など様ざますぐに「長野県」「岐阜県」と元気な声がかかる。

「あ、スカイツリーだ、東京だ」と言いなが

貼り、右左の間隔により岐阜と東京の距離感をイメージできるようにする。

ルドルフが魚屋に追いかけられる様子をマゲネット付きの絵を持ちながら子どもの前まで行き演じる。

ルドルフの絵をトラックの下に隠してトラックに乗ったことがイメージできるようにする。

トラックを動かしながら道教に異動させ貼る。イッパイアツテナの絵を見せ

ある日、魚屋でししゃもをぬすんだルドルフは、停まっていたトラックに逃げ込んだ。飛びのる瞬間におじさんが投げたモップが頭に命中して気絶してしまうの。

さあー大変、トラックはルドルフを乗せたまま走り出して

次の朝、ルドルフが目を覚ますと、見たこともないビルや家が立ち並ぶ東京と江戸川区に来ていました。

そこにルドルフを助けてくれるねこが現れます。

このねこは街のボスで、はじめはルドルフのししゃもを横取りしようとするのだけれど、ルドルフが怖いのを我慢して立ち向かったら、勇気のある子ねこだつて気に入ってくれて、二匹は仲良くなったの。

イッパイアツテナなんて変な名前だよね。

イッパイアツテナは、ノラねことして生きていくために、町

ら興味を持つて見る

トラックを動かす様子を見て「すげー早っ」「高速道路を走つたんだ」と口々に言う。

うわー、でかいボスねこだ。

ボス、トラの絵を見せて

呼び方を人によって言い分ける。

名前をひとつずつ指して

一息おいて注目させてから口調を変えてもっとすごいことを強調して

の人とうまく付き合ってたかわいがられているの。会う人によつて呼び名が変わるんだよ。

魔女みたいなおばあさんには「トラ」

小学校の給食のおばさんには「ボス」

さかなやのお兄さんには「ボス」

交番のお巡りさんには「ドロ」

「ドロボーのドロだぜ、ひでーだろ」とイッパイアツテナは言いました。

「トラ」「ボス」「デカ」「ドロ」だって、いっぱいあるね。

だからルドルフは、ボスねこのことをイッパイアツテナはと呼ぶことにしたの。

イッパイアツテナは変わったねこだけど、もつと変わっているところがあるの。

イッパイアツテナは、字を読めたり書けたりします。

人間の本を読んでいろいろな事を知っています。

ルドルフは、自分の住んでいた街の名前も知らなかったの。

街の名前も知らなければ帰ることもできないよね。

語り手の口調が変わるのを喜んで笑う。

イッパイアツテナ？

驚いて「エーッ」と言う。

再び「エーッ」と声をあげる。

子どもたちに語りかけるように



デビルの絵を見せて

ルドルフは IPPパイアツテナに字を教えてもらって、小学校の砂場に何度も書く練習をしました。

うーんとかんばって、ひらがなやカタカナなら読んだり書いたりできるようになりました。

二匹は小学校に忍び込んで、教室や図書館の本を読むこともあったんだよ。

お話しにはブッチーというねこも出てきて、ルドルフはブッチーとも友達になるの。

ブッチーは、IPPパイアツテナのことを怖いと思っていたのだけどルドルフと友だちになったことで、IPPパイアツテナとも少しずつ仲良くなっていくの。

あとね、デビルっていう犬が出てくるんだけど、

見て、このにくったらしい顔、こいつにだけは IPPパイアツテナも近づけなかったの

ルドルフは友達が出来て一人ぼっちではなくなったけれど本当は自分の街へ帰りたいていつも思っていたの。

でも、ねこの自分にはどうすることもできない、悲しくてあきらめそうになったルドルフはビルの屋上に登って行ったの。どうなったと思う？読んでみるね。

「へーッ」と声をあげる。驚いたり面白がったりする。

じっと見ている。

喜んで見る。

さまざまに声をあげながら

間をおいて

ルドルフの絵を見せながら、169ページ〜171頁を読む。

余韻を大切にしてからゆっくり語りかけるように話す。

ポスターの絵を見せる。

一度は絶望したルドルフだけど、イッパイアツテナやブッチーと友だちになって自分は一人じゃないし、勉強をして色々なことを知って「やればできる」っていう、あきらめない気持ちで湧いてきたんだね。

ある日、ルドルフ達が住んでいる商店街の旅行で岐阜へ行くことになったの。

そのバスに潜り込んでいけばルドルフは元いた街へ帰れる。ルドルフは大喜び。

ブッチーとイッパイアツテナはルドルフと別れるのはさみしかったけれど、それでもルドルフが帰れることを一緒に喜んでくれたの。

ところが旅行の前夜、イッパイアツテナがあのだべにやられて死にそうになってしまうの

イッパイアツテナは自分のことはいいいから、バスに乗るように言うのだけれど、ルドルフはデビルとの対決に向かつて行くの。

さあ、ルドルフはどうなってしまっただろうね。



絵を見せて。

絵を机に置き、間を取る。集中したことを確認してからひとりひとりに問いかけるように、子ども達の反応を感じながら。

自分が味わった感動を子ども達に伝え、共感が持てるようにしていく。

私はこの本を読んでルドルフやイッパイアッテナ、ブッチーが友だちを思う気持ちや、あきらめないでがんばるところにすごく感動したの。

三年生のみんなには長いお話しだと思うけれど、みなさんの中で一人でも、読んでみたいと思ってくれる人がいたらうれしいです。



「えっ？？」と声をあげる子。だまって見つめる子、再び集中して見る。

語り手をじっと見つめよく聞いてくれる。

目を輝かせて「読んでみたい」という気持ちになってくれる子もいる

『りんごのおじさん』

表紙を見せる。

ハンカチからリンゴを見せながら

「りんごのおじさん」の本を見せながら

本の紹介をする

6 7 ページを見せる

12 13 ページを見せる

ねこのお話しの次はこのりんごのお話です。

みんなさんは、春からりんご園のお手伝いをしてきたんだよね。

これから紹介するこの本もりんご作りをしているおじさんの話です。

竹下文子文 鈴木まもる絵

これはおじさんが何をしているかわかる？
真っ白になるくらい薬をまいていたんだって。

でもね、この薬が手に触ると、赤くなったり、奥さんは具合が悪く寝込んでしまったそうです。

そこでおじさんは、ある本を読んだのをきっかけに薬を使わないりんご作りをしようと決めました。

でもね、薬を使わないとこんな葉っぱになってしまったんだって。

毛虫もたくさんついてしまったそうです。この一つの枝

あー りんごだ

おいしそう

うん

この前そのりんごたべたよ

白いものは何だろう
薬かなあ

そんなことになって
しまうんだね

へんな葉っぱ

えー 毛虫

ビニール袋を二つ出す
二つ目を出す

15 ページを読む

19 ページを見せながら

にどのくらいの毛虫がついていたと思う？

実は これくらいなの

あー まだあるぞ、もう一つ、

全部でビニール袋3つ分毛虫がいたんだそうです。

こんなに毛虫がついていたので、花も咲かず、りんごもならなくなっちゃったそうです。

近所の人からも「虫が飛んできて困るんだ、ちゃんと薬をまいてくれ」と文句を言われてしまったそうです。

おじさんは薬のかわりに、牛乳を使ったり、ねぎの汁をまいてみたり、いろいろ試してみただって。

そのころのおじさんとりんごの木の様子はこんな感じでした。

このころおじさんには、小学生の娘さんが3人いたのですが、二つの消しゴムを3つに切って使わせていたそうです。

何をやってもうまくいかないおじさん。ある日、山に行つて木の下の土に触ってみました。実はこの土にこそりんご

100匹くらいかな

あ

えー

えっー

こんなに！

大変だったんだね

えー、牛乳も使ったの？

ねぎの汁？

りんごの木、枯れ始めちゃったんだ
すごい貧乏になっちゃったんだね

20 21ページを見せながら

9年という長さを認識してもらおう

26〜29ページをゆっくり読む

27ページおじさんの顔を指しながら

この本の良さに触れる

作りのヒントがあったんです。

その土を使ったりんご畑がこの絵です。

そして、薬を使わないでりんご作りを始めてから9年目、やっとりんごが実りました。

9年て、どのくらいかなあ。9才のおともだち、いるね。9年て、みんなが生まれてから3年生になるまでの長さなんだね。その間、ずーっとがんばったんだね。

9年目にりんごが実った時の様子を読んでみるね。

この時のおじさんの顔です。

この本はおじさんの困っている顔、悲しい顔、うれしい顔の表情がとてもよく描かれています。

えー どんなことだろ

土の中に何か入っているのかなあ

えー 土を変えたら

畑が緑になった

あー よかった

やったー

あ、わたし今9才

わー 長いなあ

ずっとがんばったんだ

よかったなあ

笑ってる

うれしそう

本の表、裏表紙を開
きながら

四人に向かつて

全員並んだら

全員で

みなさんの食べたりんごも、こんな苦勞をして実ったり
んごだったのかな。
みなさんもそんなりんごの味を思い出しながら、読んで
みてください。

みなさん、こちらに来てください。

今日は坂の上小学校の三年二組のみなさんと私たち、そ
して紹介した本とのステキな出会いがあつたと思います。
みなさんは「読みたくなつた」と思った本はありましたか。
これからも、本とすてきな出会いがあることを願つて、今
日のブックトークを終わりにします。

みなさん、ありがとうございました。



読みたいと思ったかどうか

本の題名	花丸	◎	○	△
トラのじゅうたんになりたかったトラ	3	16	10	2
星にむすばれて	2	15	13	1
星の使者	1	12	11	7
星の図鑑	3	18	10	
のはらうた	8	21	2	
ルドルフとイッパイアッテナ	9	19	3	
りんごのおじさん	2	15	12	2



ブックトーク実演台本

テーマ『食べる』



永井 克己
竹花 ちと子
丸山 敦子
武田 道子
宮下 玲子
平 由美子

使用ブックリスト

No	書名	文	絵	出版社	初版年月
9	つるばら村のレストラン	茂市久美子	柿田ゆかり	講談社	2010年12月
8	食育基本シリーズ 食べる	服部栄養料理研究会(監修)	(編)こどもくらぶ	ブレイベル館	2009年4月
7	食育基本シリーズ 知る	服部栄養料理研究会(監修)	(編)こどもくらぶ	ブレイベル館	2009年3月
6	ライオンのしごと	竹田津実	あべ弘士	偕成社	2004年9月
5	これなんてよむ?	すなやまえみこ	すなやまえみこ	ポトス出版	2010年12月
4	おもしろふしぎ 日本の伝統食材いわし	やおおむらあ	中川学 萩原一	農山漁村文化協会	2008年12月
3	食材図鑑 魚貝	坂本一男(編)		ポプラ社	2009年4月
2	いわしくん	菅原たくや	菅原たくや	文化出版局	1993年11月
1	食育 おりがみ	西田良子 平野誠子	西田良子 平野誠子	全国学校給食協会	2013年3月

実演計画・メモ

『食育 おりがみ』

包みを持ったまま

包みをテーブルに置く

開く

本を持ち

本を並べる
小さい箱を開けて

大きな箱を持って

台本

皆さん、こんにちは。おばさんは皆さんに会うのは2度目です。そうです。十月に「たぬきのちようちん」を紹介しました。その時、とっても楽しかったです。

あのよい子達にまた会いたいなあと思っていました。また会えてとっても嬉しいです。

最初に、折り紙の本を紹介します。

この本は色々な生き物を折り紙で折る方法が載っています。

鳥の仲間、くじゃくや

動物の仲間、犬

海で生活する仲間、クジラ

さっきのクジラです・・・ピンクの紙で折ると可愛いでしょ。

小さな箱に、大きなクジラ・・・では大きな箱には・・・

聞き手の反応
予想とのずれ



大きな箱を開ける

あら中身は小さかった…

これは何か分かりますか。

そうタイです

元気に跳ねているのがトビウオ

これは、いわしです。どれも折り紙の本を見ておりました。

さて、次に、このイワシ君が主人公の本を紹介します。

『いわしくん』

本を出す。

読む

男の子、元気に泳いでいました。

イワシを食べたからかなあ。

いわしくん、ご馳走様でした。いただきました。

この栄養のあるイワシの事が、色々分かる本があります。

本を並べる。

折紙の箱を包み持つて
戻る。

次のお姉さんが紹介してくれます



『食材図鑑 魚 貝』

本の表紙を見せながら立つ

4ページ

「調理の基本」を見せながら

「いわしくん」のお話しどうでしたか。
みんな「いわし」ってどんな魚か知っているかな？

この本で調べてみましょう。

この本は、「食育に役立つ食材図鑑3 魚・貝」という本です。

この図鑑は、みんなが食べている魚や貝に

「どんな食べ方があるかな」

「どんな栄養があるかな」

ということが書いてあります。

では「いわし」について調べてみましょう。

始めから1ページ、2ページ見ていくのって大変だし手間もかかるよね。

そういう時は、図鑑の終わりにある索引で調べます。

○○さん、お手伝いしてもらえますか？

あいいうえお順に並んでいます。



本をみながら話す

『おもしろふしぎ日本の
伝統食材6いわし』

あ、あったね。すぐに見つかったね。
何ページって書いてありますか。

20ページですね。ありました。
「いわし」ってこんな魚ですよね。

この図鑑にはこんなふうに食べ方も載っています。

ぜひ、他の魚もみてくださいね。

もう一冊紹介する本は、

「おもしろふしぎ日本の伝統食材6いわし」
戸言う本です。

この本は、みんなの使っている国語教科書
ページに紹介されています。
まるごと「いわし」の話です。
ぜひ、読んでみてください。

では、次はクイズの本を紹介してもらいます。

下
33



『これなんてよむ』
「魚」と「弱」のカードを
組み合わせ、「鰯」の漢
字を作る

本は閉じたまま、「西
瓜」のシートを出す

本のヒントを読み、頁
を見せる。

シートを引き答をだす

「南瓜」のページとシー
トを出す

本のヒントを読む

シートを引き出して答
を出す

ヒントの説明を読む

いわし」って漢字どう書くか知っていますか。
「魚偏」に「弱」って書きます。何故かという、すぐに痛
むから。

ではここで少し頭の対応、漢字クイズをします。
この本「これなんてよむ たべもののかんじ」です。
まずこれ、これなんて読む？

知っている漢字はあるかな？「西」は習っ
たかな。こちらの字は「ウリ」という字で
す。「キュウリ」の「ウリ」です。西の瓜、何か
な？

ヒントは…

そう「スイカ」でした。

では次これ、これなんて読む？

知っている漢字はあるかな？今度は、「南の瓜」、何かな。

ヒントは…

正解は「かぼちゃ」でした。

スイカもカボチャも瓜の仲間です。スイカはアフリカか
ら中国の西の方を回って伝わってきたので、カボチャは南



いきなり「弱」を当て
られてしまう

絵を見て「わかつ
た！」などと楽しそ
うに参加してくれて
いた

南瓜の説明より、興
味は次の胡瓜にあり、
ページを隠すなどし
た方が良かったのか
とも思う

「茄子」「桜桃」などの頁
を見せる
「玉蜀黍」「土筆」などの
頁を見せる

「無花果」のページと
シートを出す

本のヒントを読む
シートを引き答を出す
イチジクの写真を見せ
る
ヒントの説明を読む

のカンボジアから伝わった瓜なのでこう書きます。
この本には他にも、こんな野菜やこんな果物、意味を考え
ながら読むとわかる物もあるね。
よく知っている野菜なのにとっても難しい漢字だったり、
簡単な漢字なのに読めなかったり、いろいろあるので楽し
んで読んでみてください。

では最後に、これ何て読む？
知っている漢字はあるかな？

「花」は？ 「無」これは『無い』という漢字です。こちらは
「果物の実」という意味の漢字です。花の無い果物？
ヒントは…

難しかったかな、答は「イチジク」です。

こんなの見たことない？ 食べたことある人は？

「イチジク」はこの実の中で花が咲いてしまうので、いつ花
が咲いたかわからないうちに実がなっているところから
『花の無い果物』こう書くのだそうです。花が咲かないと
実はならないのね。不思議な果物です。

読み方をいろいろ考
えてくれ、知っている
野菜・果物、食べもの
以外の物まで次々に
あがり騒がしくなり
すぎてしまった

手を挙げての発言な
ので当ててあげたい
のだが、読み手に余
裕がなく元気の良い
児童に目が行ってし
まう

勝手な発言ではなく、
挙手をしての発言は
予想外で、止めるタ
イミングがつかめず、
ただ騒がしくしてし
まった

『どうぶつさいばん
ライオンのしごと』
イチジクの写真を示す。

では次は、アフリカの草原に立つ、一本のイチジクの木の下で起こった動物たちのお話です。

そのイチジクの木はタンザニアの草原の一番大きな岩の上に立っていました。
そこから草原の様子を、ずっと、ずっと昔から見守っていたのです。
そして、この大きな岩の上は裁判を行うところでもありました。

どうぶつさいばん ライオンのしごと
ただづみのる 作、あべひろし 絵

登場人物の絵をボードに貼っていく。

裁判とは、事件があるとみんなの中から選ばれた裁判官が、うったえられた人が有罪か無罪かを決めたり、有罪ならばどんな刑にするかを決めたりすることです。
裁判長はハイラックス、耳の小さなうさぎに似たイワダヌキです。
訴えたのは、おかあさんを殺された、ヌーの子ども。



絵を示しながら

訴えられたのは、ライオンのお母さん。

ヌーの弁護士はゾウ、ライオンの弁護士はオオミミギツネです。

みなさんは弁護士って知っていますか？聞いたことはあるかも知れませんがね。

弁護士と言うのは、裁判で訴えた方と訴えられた方、それぞれに付きます。

そして解決方法を一緒に考え、助けてくれるペアです。

今日の動物裁判ではヌーとゾウ、ライオンとオオミミギツネがペアですね。

さて、裁判がはじまるようです。

(読み聞かせ)ヌーの子は、目にいっぱい涙をうかべて「でもなんですか？」(読み聞かせここまで)

このあと、バブーンの若者や年とったヌーやモンゴルの羊飼いの老人が証人として呼ばれ、いろいろな話をします。

そして、このあとに判決がくだされます。

はたしてライオンは有罪でしょうか？無罪でしょうか？みなさんはどう思いますか？裁判官になったつもりで考えてみてください。

そして、続きは自分で読んでみてください。



『食育基本シリーズ 知る』

前紹介者の本を受けて

「食」のカードを用意

「食」のカードを見せる

↓ひっくり返す

「人+良」

本の表紙をしつかりと
見せる。

「食べ物はからだをつく
る」コピー部分を聞く。

ライオンは、生きるために狩りをして、食料を得ています
よね。

そして、もちろん、私たちも食べなければ生きていけませ
んね。

「食」という字を見てください。なんて読むかな。何回もで
てきていますよね。そう、しょく、たべる。この中に、漢字
が二つ隠れているのがわかりますか。そう、「人」と「良」
という漢字があるんです。「食」は「人」を「良」くするもの
なんです。

でも、「人」と「良」というのは、なんちゃって漢字といって、
国語の時間には、×になるから気をつけてね。

この本は、食育基本シリーズ『知る』と『食べる』です。ごは
んをおいしく食べるには、どんなことに気をつければよい
か書かれています。

今朝も寒かったけど、ふとんからちゃんと起きられた？
これから、ますます寒くなっていくけど、なぜなんかひか
ない

丈夫な体を作るには、3つのことが大事なんだって。バラ

しょく、たべる

人、良い



うーん、起きられた

絵の部分を使いながら指す。

明るい口調で。

いっしょに片手をだして

指を折っていく

子どもたちの様子を見ながら

「ごはんをおいしく食べよう」コピー部分を開く。

ンスのとれた食事や、よく寝ること、運動が必要。

でも、バランスのよい食事がとれたかどうか、どうしたらわかるかな？

「指で覚える一日の食べ物チェック」というのがあるんだって。

昨日の夕飯、何を食べたか思い出して。じゃあ、片手をだしてパーにしてみよ。食べたなら、指を折っていくんだよ。

まず、親指は、パンやご飯のグループ、うどんとかパスタもあるよね。人差し指は、キャベツやにんじんの野菜のグループ。サラダとか煮物とか。中指は、牛乳、チーズのグループ。朝食のときかな。薬指は、肉やさかな・卵のグループ、メイソンのおかずだね。そして最後、小指は、バターなど油のグループ。

グーの形になればOK。グーになった？みんなまたやってみてね。

給食も、家でも大勢で食べるとおいしいよね。でも、マナーが大切。

食べるときは「いただきます」。食べ終わったら「ごちそうさま」って言うよね。



おもいだした

男の子を指す。

大事な個所なので、ていねいに伝える。

『食育基本シリーズ 食べる』

「おはし名人になる
う」コピー部分を開く。

立って

次の紹介本につなげ
て

机に表紙をみせて本
を並べる。

あれ、この子は先に食べはじめていますよ。おながやすい
て早く食べたかったのかな。

「いただきます」には私たちの食料となってくれた生き物
への感謝や、農作物を作ってくれた人、それを運んでくれ
た人、そして料理をつくってくれた人たちへの感謝の気持
ちが込められていますよ。

給食の先生やおかさんに感謝して食べようね。

白井先生もこの学校の給食おいしいって言ってますよ。

給食でもおはしを使っているよね。

みんな上手におはしを使えるかな。おはしは1200年
も前に使われるようになったそうです。おはし名人にな
ろうというページもあります。チェックしてみてください。長い
歴史をもつおはしの文化を大切にしたいですね。

正しいおはしの使い方、おいしく食べられたらいいね。
会話を楽しんで、味わって食べましょう。

次は、山の中のレストランのお話です。キノコや山菜を
使ったおいしいお料理を食べに、不思議なお客様が訪ね
てくるようですよ。

うん、使っている。

『つるばら村のレストラン』

山小屋の写真を見せる。

本の表紙を見せる。

山小屋の風景を見せる。

(ページ六)

かまどで炊いたご飯の絵を見せる。(ページ十二)

看板メニューの絵を見せる。(ページ十二)

本を紹介する前に写真をご覧ください。この山小屋は、おばさんが今年七月より住んでいる家です。先日、畑にハクビシンがやってきました。美しい自然が良くて住みはじめました。

「つるばら村のレストラン」に出てくる主人公の卓郎さんも、つるばら村の月見が原で山小屋を見つけ、すっかり気に入りに入り、

「なんてすばらしいところだ。ここに住みたい。そしてレストランを開きたい！」と思いました。けれども電気もガスもない山小屋で、卓郎さんはお客様に出す料理が作れるのでしょうか。

山小屋の中でかまどを見つけ、薪でご飯を炊いてみると、炊飯器の何倍もおいしい、甘い御飯が炊き上がりました。「よし、これだー」そして二年目の春、ついに開店しました。

レストラン山小屋

薪のかまどで炊くごはん

薪のストーブで作るシチューの店」

二枚の写真に興味を示してくれる。

目と耳を澄まして集中してくれる。



キツネとゴハンピザの
絵を見せる。(ページ
四十二)

しいたけを焼いている
絵を見せる。(ページ
六十六)

女の子が人参を食べて
いる絵を見せる。(ペー
ジ百七)

本日のランチメニュー
新じゃがとグリーンアスパラのシチュー
山菜と野草のサラダ
ごはんおかわり自由
イチゴとチーズスクリームのクレープ包み
コーヒーまたは紅茶

来たお客様は料理にも山小屋の雰囲気にも大満足でし
た。

ホタルの飛ぶ夏の頃、マジシャンぎつねがやってきて、「ご
はんのピザ」を食べました。

どんな手品を見せてくれたのでしょうか。「ごはんのピ
ザ」も珍しいですね。

秋には動物達にきのこづくしの料理を作ることになりま
した。

冬のある日には「人参を好きになる特別メニュー」。人参
嫌いだったたぬきの女の子は、すっかり好きになりました。



もう一度、本の表紙を見せる。

残りを8巻セットにして見せる。

どうぞ、本の中で、卓郎さんのみんなを幸せにする料理と動物たちの不思議な物語に出逢ってみて下さい。

「つるばら村」はシリーズになっていて「ハチミツ屋さん」や「パン屋」さんなど全9巻あります。ぜひ、手に取ってみて下さい。

これで「食べる」をテーマにしたブックトークを終わります。「食べる」ことは生きる上での基本です。「食べる」ことに興味をもってもらえたらと思います。

今日紹介した本は、学校の図書館や教室に用意してありますので、手に取って、読んでもらえたらとてもうれしく思います。

大切な時間を戴いて、感謝の気持ちをごこめて

では、今日本を紹介したメンバーの紹介をします。一人ひとり名前を言う。

全員で、ありがとうございます。



読みたいと思ったかどうか

本の題名	花丸	◎	○	△
食育おりがみ	2	21	6	2
いわしくん	4	23	3	1
食材図鑑 魚・貝	2	10	17	2
これなんてよむ？	9	21	1	
ライオンのしごと		19	10	2
食育基本「食べる」	2	15	9	5
つるばら村のレストラン	5	13	13	





子どもたちにとってのブックトーク

坂の上小学校 白井 真希

今回、担任しているクラスの子どもたちにブックトークをしてもらい、子どもたちの様子や感想から、次のようなことを考えた。

ブックトークとは…

① 読みたくなる。きっかけができる。

「続きが知りたい。」

「最後に仲間になった時のトラの顔が見たい。」

「友だちにクイズをしてびっくりさせたい。」

② 紹介の仕方を学ぶ

「ちようどいいところでやめてくれたから、表紙を見たときより読みたくなかった。」

「全部読んでもらったから、読みたいと思わない。」「読んでもらっておもしろかったら、自分でも読んでみたい。」

「読んでもらわなかったから、読みたいとは思わない。」「読んでもらわなかったから、読んでみたい。」

③ 紹介してくれた人との関わりから心が動く。世界が広がる。

「どうしてそんなに多くの知らない本ばかり持っているんですか。ブックトークさんが持って来てくれたのは、有名な本ですか？」



「私、魚大きらいなんだけど、図かんの絵を見たら、本当においしそうに見えました。」

④ 自発的な活動へつながる

「読んでみたらすぐくおもしろかったです。書き写しました。」

「読み終わったら、感想を紙に書いて、本を読まなくても言えるようにいっぱい読みたい。」

「今日聞いて、自分もおうちにある本を、おうちの人にブックトークをしてみたいです。ブックトークをしようという気持ちになれば、本の世界に入れてとても楽しいですね。」

しかし、ブックトークから三ヶ月後、参加者のみなさんから手紙をいただき、子どもたちの書いた返事を読んで、認識の甘さを感じた。

子どもたちの中には、紹介してくれた人と本と場面が一緒になって残っていた。それは、ただ本と出会ったのとは全く違う。紹介してくれた人の思いが本と重なって、豊かに深く子どもたちは受け取っていた。

「嶋崎さんが一生けん命言ってくれて、わたしももう一度読んでみたいです。」

「本を読む時、ブックトークのみなさんを思い出します。」

「ぼくは、一目見ただけで、読むのがいやだったのに、とっても楽しいってことを教えてくださって、ありがとうございます。」

「永井さんがいなかったら、こんなにおもしろい本、見つけれなかったと思っています。」

「西瓜がアフリカから来たとは、知りませんでした。ぼくたちもいろいろな事を調べてみたいです。」

「新しい自分はまだ決めていませんが、本は大人になっても読みつづけたと思います。」

「りんごのおじさんは、あんなにもくろうしてりんごを作っていたとは思いませんでした。わたしの中で何かかわったみたいです。」

今回、子どもたちにとってブックトークとは、人や本への信頼を高め、自分を振り返り、まさに新しい自分へ一歩踏み出すきっかけとなるものだったのではないかと思う。それは、受講者のみなさんが、一年かけて、本気になつて子どもたちや本に向き合い準備してくださったからだ、心から感謝している。そして、ぜひ、このようなすばらしい活動を続けていってほしいと願わずにいられない。





第2期ブックトークゼミナール受講者の感想

- ・ブックトーク活動について理解することができた。
- ・ブックトークをするにあたり、本を良く知っている事が大切だと思った。
- ・テーマに合わせて選書することを初めて実践し、ブックトークの過程、やりかたを学ぶことができた。
- ・二冊の本を、どのようにしたら深く読む事ができるか：発端から終局に向けて細かく分析していく方法を学ぶことができた。
- ・二冊の本をこんなに深く考えた事はなかった。いかに、どのように子どもたちに本の良さを伝えたらよいか考えさせられた。
- ・「本を読む」ということへの自分自身の考え方が随分変わった。作者の伝えたい事、絵本の絵が伝えていることなど、じっくり考えて読むようになった。
- ・これまでの自分の中のブックトークは本が先で人が不在だったことに気付かされた。
- ・子どもたちへブックトークをする際の心の配り方、想いの伝え方など学べた。
- ・グループでやるブックトークの良さを実感した(二人では付けられない力を付ける事ができた。グループでブックトークの実演をすることの大変さ、ありがたさ、楽しさを学べた。
- ・グループの中で、「どうしたら子どもたちに本の良さ・楽しさを伝えられるか」意見や想いを伝え合い、意見の違いを指摘したり受け入れたりして、学ぶことができた。

ブックトークを通して人との出会いの中で成長できた事を実感した。自分の想いを伝えそれが人に伝わった時の感動をもらった。

ブックトークは子どもと本を繋ぐ活動だと考えているが この講座を通して面識の無かった大人と大人を繋ぐ活動でもあると実感できた。

この講座を通して、「本を選び、読み聞かせをする事の大変さ、むずかしさ、心持の甘さ」を深く感じた。

今回のように大人同士が本について こだわって語りあえる場があったら参加したいと思う。

図書館司書なので ぜひ 自分でブックトークをやってみたい。

本を読み続けながら できれば 地域の小学校へ、本の面白さを伝えに行きたい。

自分が関わっている絵本サークルの中で 自分が実演したり、提案して、ブックトークを広めていけたらと考えている。





子どもと本をつなぐブックトーク

〈ブックトークゼミナールのみなさんとの出会い〉

原村図書館 原中学校司書 宮坂順子

私たち大人が子どもに本を手渡す方法はたくさんあります。おはなし(語り)、読み聞かせ、ブックトーク……。中でもブックトークは本の楽しさや魅力を伝え、子どもたちが進んで読書をするための有効な方法だと思っています。

通常ブックトークは一人で行いますが、ブックトークゼミナールの取り組みは、複数の仲間が集まり、クループでひとつのブックトークを創り上げるという、とても画期的な試みです。年12回の講座の中で、ブックトークとは何かを学び、テーマを決め、選書し、シナリオを作り、みんなで積極的に検討し、ひとつのブックトークを仕上げていきます。そして、実演練習を重ね、小学校でのブックトークの実演。

今回、2回の講座にかかわらせていただきましたが、参加者のみなさんの、子どもや本に対する思いは熱く、常に、子どもたちの前に立つ・・・ということの責任感や真摯な思いを心に持つて取り組んでいました。毎回、子どもや本について熱心かつ丁寧な学ばれている姿に、頭が下がる思いでした。そしてなによりも一人ではなく、仲間同士で創り上げること学び合うことの厳しさや頼もしさが、一人ひとりの学びをより支えていたのではないのでしょうか。みなさんの真剣に学ぶ姿勢に心を動かされ、私にとっても学びの場となりました。



本番当日は、緊張の中にも、きつと手ごたえのある子どもたちに寄り添ったブックトークの実演だったと思います。ブックトーク終了後、読みたい本を手取る生徒たちの姿が目に見えるようです。もし、すぐに本が動かなくても、みなさんの思いは、本とともに子どもたちの心の深い場所に届き、いつかは読んでみたい本の1冊となったことでしょう。読書にはそんな自由な選択もあるはずですから・・・本を通して子どもたちと楽しい時間を共有できた貴重なブックトーク体験をどうか大切にしてください。

そして、この活動を更に深め、上田の子どもたちのために、これからもブックトークを通して、本の楽しさを伝え、手渡しで子どもたちにも本を届けてほしいと思います。今回、子どもと本をつなぐブックトークゼミナールの実践的な活動にかかわらせていただき、私自身が、仲間とともに一から学び活動することの大切な原点を学びました。みなさんとの出会いに心から感謝しています。

宮坂順子さんは、長野県図書館協会が行うブックトークゼミナールの講師として活躍しておられ、今回のゼミナールでは、ブックトークの実演や、アドバイスをいただきました。



資料

- 一 講座について
- 二 確認事項
- 三 用意したテキスト

一 講座について

(一) 講座名 「ブックトーク・ゼミナールⅡ」

(二) 主催 上田図書館倶楽部・上田情報ライブラリー

(三) ねらい 子どもたちを楽しい読書の世界に案内し、進んで読書する子どもたちを育てるブックトーク。

その方法を実践的に身に付け、受講後に生かす。

(四) 方法 1、実演に向け焦点化した内容にする。

・実際に小学三年生を対象として実演する。

・少人数にする。

募集人数 15人

・ゼミナール方式

初めから各自が課題をもち

受講者同士の討議を中心とした講座

自主的運営を可能な限りすすめる。

2、講座回数

・全12回

2012年1月～2012年12月

毎月最終日曜日 午後1時30分～3時30分

原則 全回出席可能な人

3、講師

・外部講師 宮坂順子

第1回―「ブックトークの世界」その楽しさと有効性

具体実演を通じた講演内容

第8回―グループごとの実演練習に対する実際指導

・内部講師 稲垣勇一

4、実演対象学級

・小諸市立坂の上小学校3年2組

5、企画・運営

上田図書館倶楽部

稲垣勇一

白井真希

西入幸代

宮川やよい

山本美都子

上田情報ライブラリー

加々井歩美

二 確認事項

(一) ゼミナールの流れ

各グループごと、自分が選んだテーマにそって

- ・実際に各自が選んだ絵本・単行本を持ち寄り
- ・本の内容を検討し、子どもたちに紹介する本を決定する。
- ・決定した紹介本を実演ねらいに合わせ構成する。
- ・実演台本を書く。

・実演練習

外部指導者による指導一回

・実演

・反省

右の流れを初めから十分に念頭におきゼミナールに参加する。

(二) 確認事項1

1、ゼミナール当日は氷山の一角。

準備・学習は各個人でしっかりと行う。

その上にゼミナール当日の内容が成立する。

2、実演台本は全員が必ず書く。

3、グループ内で、原則次回までの課題を決める。

- ・ゼミナールの最終時、原則として次回までの課題を決める。
- ・課題について全員必ず学習し、準備する。

(三) 確認事項²

1、原則 全日出席

欠席・遅刻については必ず連絡する。

グループ討議が中心。ひとりひとりがゼミナールの主役。

2、参加者ひとりひとりが自立し、自分の考え・判断で主体的に行動し、活動に参加する。

仲良しグループのような主体性を欠いた活動参加はしない。

3、子どもと本に直接責任をもつ活動であり、趣味的な活動ではない。

“一生懸命とのびのびと楽しく”は両立する。

上手下手などは勉強を重ねてからの問題。

本を愛し、子どもに熱い思いをもつこと。両者を尊敬すること。そのとき見えてくるもの

そが宝もの。

4、仲間から学ぶ。

そのために一生懸命に自分を出す。認めること、同意すること、質問すること反対するこ

と、補足すること等、他者に対していいに、思いを込めてかわる。

5、たった12回、されど12回

あくまで本ゼミナールは基礎編。応用はその後であり、それこそが本命。

三 用意したテキスト

(一) 外部講師

1 「ブックトークの基本」

・ブックトークとは？・ブックトークの目的・ブックトークの方法

・参考資料リスト・台本「せつぶん」・本紹介

2 「ブックトークの実演」ブックリスト

『いろいろな色の本 ～色つてふしぎ～』

3 「原村図書館・この一冊」

(二) 内部講師

1 「基本的なこといくつか」

2 一冊の本を深く読む 『ぼうさまのき』瀬川康男

絵 松谷みよ子 文
(講談社・フレーベル館)

「座頭の木」(『日本の民話6 土着の信仰』より)

「『ぼうさまのき』物語部分の分析」

(三) その他

1 「坂の上小学校 3年2組 学級だより」

2 「1年生 としよかんのめあて：1年生から6年生までの本紹介」

3 「ごどもたちにとつてのブックトーク ～感想より～」

文中の絵は、坂の上小学校の子ども達が
書いたものです。

ね この本読もう

二〇二二年三月三〇日 発行

編者 NPO法人上田図書館倶楽部
ブックトーク企画運営部